

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市泉2丁目A計画新築工事	階数	地上15F
建設地	神奈川県海老名市泉2丁目953-4外8筆	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,000 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2019年11月29日
敷地面積	18,324 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	3,688 m ²	確認日	2019年11月29日
延床面積	38,452 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 84%</p> <p>③上記+②以外の 84%</p> <p>④上記+ 84%</p> <p>92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>メインエントランスアプローチ、東側道路沿いに植栽帯を計画し、景観上緑豊かで、賑わいのある空間を形成した。また、白を基調とした外壁にガラス手摺や木目調のアルミ手摺を用いることで、周辺環境に調和した明るい共同住宅を目指した。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二重壁によりDr値50を確保。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物全体のコンセプトや機能、快適性に配慮している。 ・住宅性能表示基準 構造躯体劣化対策等級3を満たす。 ・床材等は清掃がしやすい素材(共用部: タイル張り)を使用し、極力段差のない計画とする 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観区域内の基準に基づく色彩配置としている。 ・低木と中高木を混色することで、立体化と広がりを生み出し、敷地周辺に対し潤いを与える計画とする。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外皮等に2方向面することで有効な採光・通風が確保されエネルギーを有効活用できるよう配慮している。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラスを採用。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。 ・PRTR法の対象物質を含有しない建材種別として、壁紙施工用接着剤にルーアマイルドを使用。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイ設備を採用。 ・駐輪台数を戸数の200%確保し、管理用荷捌きスペースを設け、交通負荷の抑制を図った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される